り明春にかけて九州聯合會永年の組織運動の苦闘が酬ひられる見透しが確立したことを茲に報告し、同志諸君と共にその慶びを頒つものである。

二、教育部

九州聯合會はまだ勞働組合としての基礎的諸運動に全力を注ぐ創設時代にあるにもかゝわらず、組織運動の強化、擴大のため更らに勞働組合の平和的、建設的職能の擴充に主力を置く大方針を採つて來てゐるので、教育部としての特殊の機關を組織しその機關を通じての教育運動を効果的に展開する經濟的にも時間的にも餘猶なく、本年度の教育部の活動も昨年度と同樣な實踐を通じたる所謂兵馬悼愴の間に於ける現實闘爭であつて、聯合會としての組織的な系統的な教育運動を爲し得なかつたことは甚だ遺憾であると言はねばならぬが、九州聯合會の現實の情態に於ける實力の許す範圍内で最高度の教育運動に精進したことも亦拒むべからざる事實である。

加盟組合の座談會、茶話會、講演會の積極的開催とこれが指導、「勞働」「勞働經濟」の分頒、購讀の奬勵は素より、各組合の運動の方針、經過、行政上の業蹟の敏速、正確なる報告、ニュースの刊行を鞭韃して組合員教化の資に供せしめ、更らに九州聯合會は僚友團體と相諮り九州の戰線に於ける勞働階級の教育、指導の唯一の機關として、多年の懸案となつてゐた「九州勞働新聞」の發刊を本年二月に實現し、勞働組合の教育機關紙としての重大使命を負つて經營の苦闘半歳、去る九月十日附を以て愈々第三種郵便物の認可を得たことは九州の勞働階級教育運動に劃期的貢献をなすものとして喜に堪えない。

その他九州聯合會の實踐運動に加盟團體を動員し體驗を通じて強固なる階級理論を把握、理解せしめ或は九州地方勞働前衛隊の結成とその行動を通じて青年組合員教育の資となし、更らに日本勞働組合會議九州地方協議會或は社會大衆黨福岡縣聯合會と相提携して、日本海員組合長堀内長榮氏が六月の西下を期して座談會を開き日本製鐵從業員組合長加藤良左衛門氏が壽府より歸朝を迎えて歡迎座談會を催し、更に國際勞働代表の關門通峽に際して、これが歡送迎を兼ねた講演會に多數の組合員を動員し、或は龜井代議士をわずらはせてその歸幡毎に各地に於て中央政局の動向を聽く座談會、講演會演說會を開くなぞ機會ある毎に最大の努力と誠意を以て教育運動に專念した。

未組織の勞働階級に對する教育啓蒙の運動は例年の如く健實なる勞働組合主義の徹底に重點を置き九州聯合會の組織宣傳のためにする各種印刷物の撒布を以て訴え、階級意識の覺醒と昂揚に努め、九州聯合會の健全なる方針の下に未組織勞働大衆の信望を蒐めつゝある。

三、事業部

一、消費組合の部

◎製綱小倉購買組合報告

イ貸借對照表

貸方	
縣、信、聯、出資金	一五〇、〇〇
縣、購、聯、出資金	一六〇、〇〇
未拂込出資金	一三〇、〇〇
備品	五四〇、〇〇
棚卸殘高	三、九一三、四一
掛賣代金	一八、〇三〇、六〇
假渡金	三、一三三、一八
定期預金	四、〇〇〇、〇〇
當座預金	一、四六四、八三
現金	三三五、八四
合計	二九、五五七、八六
借方	
出資金	九、八五〇、〇〇
準備金	一三、五六六、八〇
掛買金	一二、六四七、四五
從業員退職積立金	一四四、三〇
家族慰安會積立金	一三七、八四
本年度剩餘金	四、三九一、四九
合計	二九、五五七、八六

二、損益表

損益表	
利益の部	
配給利益金	九、〇八七、三二
預金利息	六六、七一
雜收入	二一八、一八
合計	九、三七二、二一
損失の部	
經營費	四、九一三、一一
運賃	六七、六一
合計	四、九八〇、七二
差引	四、三九一、四九

◎今期中成績表

前期ヨリ繰越高	三、五〇九、七三
今期中仕入總高	一六〇、七九二、〇〇
合計	一六四、三〇一、七三
今期中配給總高	一六九、四七五、六四